

# 2016年1月1日～2023年12月31日の間に当科において肋骨固定の治療を受けられた方へ

## —「肋骨固定術を施行した胸部外傷の検討」へご協力をお願い—

研究機関名 福山市民病院 呼吸器外科  
研究代表者 福山市民病院 呼吸器外科 科長 富岡 泰章  
研究責任者 福山市民病院 診療部 院長 室 雅彦  
研究分担者 福山市民病院 呼吸器外科 統括科長 山田 英司

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

当院は広島県東部を中心に三次救急医療を提供する救命救急センターを有する中核病院であり、胸部外傷を含む高エネルギー外傷の緊急搬送例を数多く扱っています。特に胸部外傷においては、解剖学的な特徴から肋骨骨折が頻発し、これらに対する適切な治療が必要です。近年、フレイルチェストや呼吸不全を有する患者に対する早期の肋骨固定手術の有用性が報告されていますが、日本国内では肋骨骨折に対する固定術の適応基準が明確でなく、損傷の程度や範囲、他臓器の障害を考慮して個々に判断されているのが現状です。本研究では、当院の肋骨固定術の適応基準と治療成績を検討し、日本における肋骨固定術の適応基準の確立に寄与することを目指しています。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

日本における肋骨骨折治療において、肋骨固定術の適応基準が不明確である現状を踏まえ、肋骨固定術の適応基準と治療成績を明らかにすることで、国内における肋骨固定手術の標準化につながると考えています。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2016年1月1日～2023年12月31日の間に福山市民病院呼吸器外科において肋骨骨折に対して肋骨固定術を受けられた方を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

2024年3月4日（倫理審査委員会承認後）～2024年6月30日

#### 3) 研究方法

2016年1月1日～2023年12月31日の間に福山市民病院呼吸器外科において肋骨骨折に対して肋骨固定術を受けられた方に関して、研究者が診療情報をもとに肋骨固定術のデータを選び、その手技と成績を分析します。

#### 4) 使用する試料

使用する試料はございません。

#### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し研究用の番号を付して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、受傷機転、呼吸機能、骨折部位、修復した肋骨本数、呼吸機能
- 受傷から手術までの期間、手術術式、手術時間、出血量、気管切開の有無、術中・術後合併症の有無とその内容、術後入院日数術後生存率、疼痛の程度等のデータ

#### 6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、福山市民病院のパソコン内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページに掲載してお知らせします。

#### 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 呼吸器外科 富岡 泰章  
電話：084-941-5151